



Driving Mobile Media Solutions

Alpine Report

第45期第2四半期(中間)決算報告書

2010年(平成22年)4月1日~9月30日

アルパイン企業理念

アルパインは、人々の心を大切にし、
仕事の質を高め、活力に溢れた魅力ある企業を目指します。

1.「個性の尊重」

アルパインは社員一人一人の誇りと情熱を大切にし、
人を育て、人を活かし、相互信頼の絆を築きます。

2.「価値の創造」

アルパインは時代をリードする先進技術に挑戦し、
人々に喜びをもたらす新しい価値を創造します。

3.「社会への貢献」

アルパインは品位ある商品の提供を通じ、
明日の豊かな社会作りに貢献します。



Audio



Visual



Navigation



Communication



Drive Assist



Driving Mobile Media Solutions™

モバイルメディアの未来価値へ



向寒の候、株主の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

第45期第2四半期決算報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

本年6月の定時株主総会を経て社長職を拝命し半年が過ぎました。この間、決して順風満帆ではございませんでしたが、構造改革『CHALLENGE30+(プラス)』を継続して推進し、更には売上拡大に注力して参りました。

国内市場では『日刊自動車新聞 用品大賞2010』の大賞を受賞したナビゲーション『BIG X』が『パーフェクトフィット』との相乗効果でヒット商品となり、業績面で大きく貢献いたしました。また、海外におきましては主要顧客の車両販売が中国市場などで伸張し、当社製品の売上も堅調に推移いたしました。この結果、上半期業績は計画を上回ることが出来ました。これも全社一丸となって進めている構造改革の成果が着実に表れてきている結果であり、今後、より一層企業体質強化に努めていかなければならないと気持ちを新たにしております。

株主の皆様にはリーマン・ショックによる業績不振以降、ここに至るまでの間、暖かいご支援を頂戴し誠に有難うございました。そしてこの度の業績回復を踏まえ、1年半ぶりに復配10円を行うことを決定いたしましたので報告させていただきます。

下半期は引き続き不透明な経済動向が想定される中、市販においてはご好評頂いているパーフェクトフィット適用車種の拡大を図るなど拡販に努めて参ります。また回復基調を見せている自動車メーカー向けビジネスの深耕、そして中国を始めとした成長市場での事業拡大を着実に展開して参ります。更には構造改革『CHALLENGE30+(プラス)』を引き続き推進し効率化を図って参ります。このように攻めと守りの『バランス経営』に注力しながら業績の向上に努めて参ります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

2010年11月

代表取締役社長

宇治美 徹

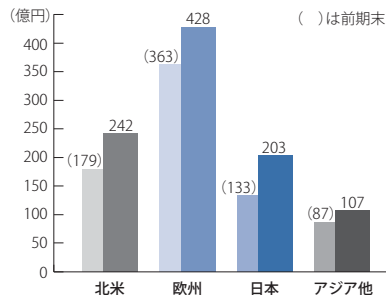
音響機器事業

当事業部門では、北米市販市場において普及価格帯CDプレーヤーの販売は堅調に推移しました。しかしながら、iPodやインターネットラジオPandora対応ヘッドユニットなどの差別化商品が市況悪化の影響を受け、厳しい販売状況で推移しました。欧州では、Bluetooth対応CDプレーヤーや、車室内のクリアな音質を訴求した高音質スピーカーが堅調な売行きを示しました。また、国内市販市場では、高音質スピーカーの販売が好調に推移したものの、CDプレーヤーなど単機能商品が価格競争激化の影響を受け、売上は減少しました。自動車メーカー向け純正品は、欧米における主要取引先の新車生産・販売が回復傾向を示すとともに、中国市場向けが好調であったため、売上が増加しました。以上の結果、当事業部門の売上高は345億円(前年同期比3.1%増)となりました。

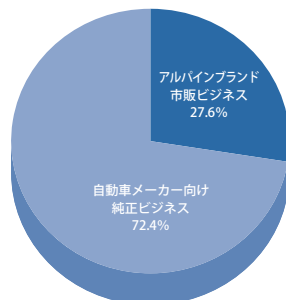
情報・通信機器事業

当事業部門では、北米市販市場に新規投入した普及価格帯ナビの販売が、価格競争激化の影響を受け、厳しい状況で推移しました。欧州におきましては、牽引役であった複合商品や、期中より市場投入した普及価格帯ナビの新製品が市況悪化の影響を受け販売が減少しました。一方、国内市販商品では、市販最大の8型画面を装備し、地図および文字の視認性やタッチパネル操作の利便性を向上させた戦略モデル「BIG X X088」(日刊自動車新聞 用品大賞2010 大賞受賞)を投入するとともに、車種別取付けキットによりカスタマイズされた美しい装着を可能とした「パーフェクトフィット」を推進したことで、売上が大幅に増加しました。また、ナビゲーションとリンクし安全運転を支援するカメラシステムの販売も好調に推移し、売上拡大に寄与しました。自動車メーカー向け純正品は、北米においてナビゲーションの装着率が高い高級車や大型車の生産・販売が回復しつつあり、加えて欧州メーカーの中国市場向け新車販売が好調に推移したため、売上が大幅増となりました。以上の結果、当事業部門の売上高は634億円(前年同期比47.9%増)となりました。

地域別売上状況



事業部門別売上比率



自動車メーカー向け
純正ビジネス売上：
695 億円



アルパインブランド
市販ビジネス売上：
265 億円

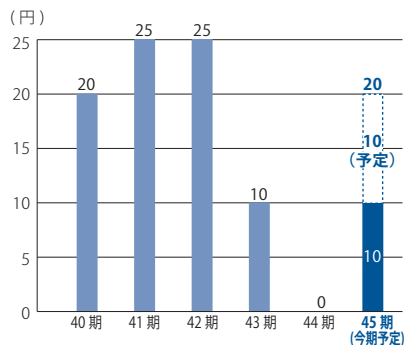


主要経営指標の推移

	第45期第2四半期累計 2010年4月1日～2010年9月30日	第44期第2四半期累計 2009年4月1日～2009年9月30日
売上高	980億円	764億円
営業利益	70億円	△56億円
経常利益	60億円	△52億円
四半期純利益	50億円	△65億円
1株当たり四半期純利益	71円23銭	△94円4銭
総資産	1,584億円	1,401億円
自己資本比率	61.4%	64.9%
流動比率 ^(※)	245%	221%
流動資産	1,066億円	820億円
流動負債	433億円	371億円
ROA	3.2%	—

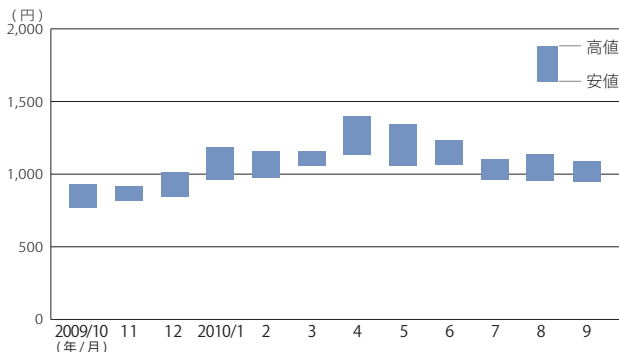
※流動資産÷流動負債×100 (単位:百万円)

配当金推移



株主の皆様にはリーマン・ショック以降の業績不振の折、無配という形でご協力いただいておりますが、この度の業績回復を踏まえ、1年半ぶりに復配10円を行うことを決定いたしました。

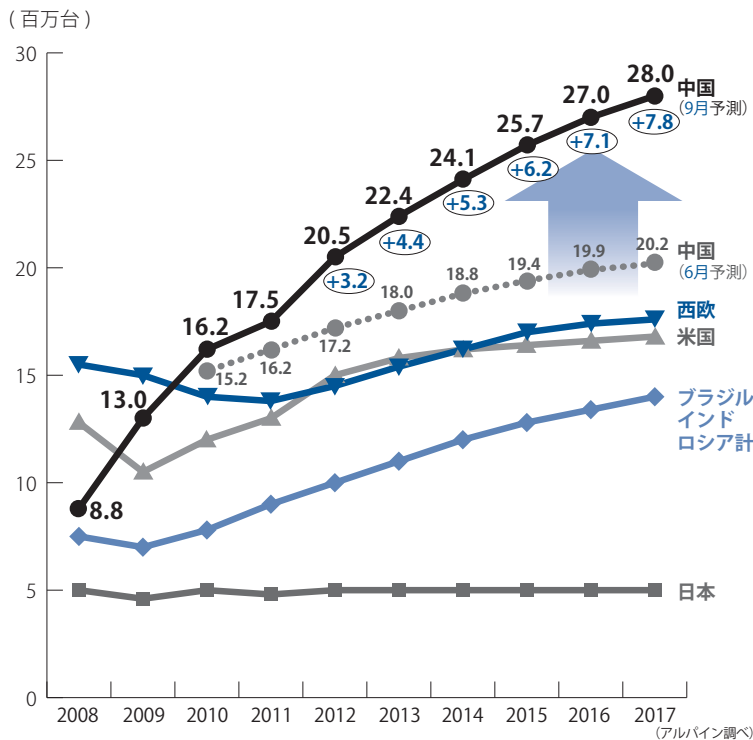
株価時系列データ



将来を見据えた新たな取り組み

中国・新興国市場攻略

世界市場新車販売予測



成長著しい中国の「北京モーターショー」に出展し、アルパインブランドと新製品を訴求

世界市場における車両販売予測が示す通り、中国市場の成長拡大ペースが高まっております。アルパインは成長戦略の一つとして「中国・新興国市場攻略」を掲げており、この成長市場への取り組みを着実に実施しております。具体的には今期より、中国自動車メーカー向け製品の量産/納入を開始したばかりでなく、当初の受注アイテム、比較的シンプルな音響製品にとどまらず、情報通信系の複合製品の受注も決定いたしました。また、インド市場へのプロジェクトも中国開発製品のプラットフォーム展開として、数件の受注が決定しております。着実に中国・インドにおける客先への窓口を広げており、今後の更なる業績拡大に向け成長戦略の実践に積極的に取り組んでまいります。



新任取締役メッセージ

2010年6月24日に開催されました第44回定時株主総会において、以下の2名が取締役として新たに選任され、就任いたしました。新たな体制のもと事業の発展に精進いたしますので、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

営業担当取締役に就任いたしました小林と申します。

2008年の金融危機、GM・クライスラー破綻に端を發した長い景気低迷から抜け出し、自動車関連市場も、当社の売上も回復基調でございます。不況下においても経営努力を継続しつづけた成果が着実に表れてきております。我々営業部門と致しましては、受注活動を更に強化し、売上の拡大にリーダーシップを発揮したいと考えております。

また、米州・欧州マーケットに加え、アジア・BRICsなど新興市場での売上拡大に努めて参ります。この目標の実現の為には、営業部門も、常に自らを変え、再生し、若返らせなければならぬと考えております。今後とも株主の皆様のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

略歴：

昭和35年1月生
平成9年8月 当社入社
平成13年4月 第一国際OEM部長
平成20年1月 国際OEM担当部長
平成21年7月 理事 国際OEM担当
平成22年6月 取締役 営業担当(現任)



取締役 営業担当
小林 俊則

製品開発担当取締役に就任いたしました遠藤と申します。我々技術部門においては開発費の多くを占めるソフトウェア開発の効率化なくして、『CHALLENGE 30+』のさらなる推進は無いものと考えております。製品開発担当として私が目指すものは、ソフトウェア開発における改革、アライアンス戦略を軸にした強い商品開発でございます。具体的には、開発の徹底した無駄取りと効率化を行なっていくというものです。

このためには予め生産、品質の観点も取り込んで開発を進めなければなりません。また、大きな変革の動きがある中で、ソフトウェアプラットフォームを確立させ、全社展開を行っていくことが、私の使命であると考えております。今までの経験を活かし、目標実現に向けて邁進していく所存ですので、ぜひ株主の皆様のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

略歴：

昭和36年4月生
昭和61年4月 当社入社
平成13年3月 ナビソフト設計部長
平成15年4月 AVNC開発担当部長
平成22年4月 部長 製品開発副担当
平成22年6月 取締役 製品開発担当(現任)



取締役 製品開発担当
遠藤 浩一

「BIG X」が「日刊自動車新聞 用品大賞2010」大賞を受賞／国内市販好調に推移

「BIG X」が「日刊自動車新聞 用品大賞2010」大賞を受賞

「BIG X」が「日刊自動車新聞 用品大賞2010」において、2009年7月～2010年6月発売の総数2万点以上ものカー用品新製品の中から1点に与えられる、最高賞「大賞」を受賞いたしました。「用品大賞」は販売店のアンケートを参考に、販売量だけではなく、アイデア・技術・マーケットへのインパクトなど総合的に評価され決定されます。「BIG X」は、大型モニターを収めるためセンターコンソールパネルを対応車種毎に開発、従来の7型に比べ1.43倍となる市販最大の8型モニターを採用しています。この大型化により、地図の表示エリアが広がる他、タッチパネルの操作性も向上しています。また車種専用ジャストフィットする取付けが可能なパーフェクトフィットシリーズが高く評価され、今回の受賞となったものです。



国内市販好調に推移

国内市販市場においては、大画面カーナビゲーション「BIG X」が牽引役となり、売上は好調に推移致しました。「BIG X」を使用したお客様からは「地図やキーボード全てが大きく表示されるので、とても読みやすく、入力ミスがない」、「大画面で見るDVDや地デジは迫力がある」と評価の声を頂いております。また、お客様のニーズに更に応えるため、「BIG X」の取付け可能な適合車種を下期から大幅に拡大いたします。純正システムのような美しい仕上がりを追求したパーフェクトフィットシリーズの対応車種を、ミニバンを中心とした13車種から人気のハイブリッドカーを含む27車種に拡充。スマートに美しく取付けできる当社独自の取組みで他社との差別化を図り、引き続き拡販に努めて参ります。



ITS分野における積極的な取り組み

去る9月11日、横浜みなとみらい地区・クイーンズパークにおいて「ITS スポット対応ナビ・車載機合同展示会」が行われアルパインも参考出展いたしました。この展示会において国土交通省は「DSRC」・「スマートウェイ」から「ITSスポットサービス」に呼称を変更し、2010年冬から全国1,600箇所サービスを開始することを公表しました。アルパインを含む国内メーカーは、パネルやビデオ、実機展示を使って基本サービス(ダイナミックルートガイダンス、安全運転支援、ETC)による「安全で賢いドライブ」を来場者にPRしました。アルパインでは現在、基本サービス及びIP接続・ICカード決済等オプションサービスの開発中であり、来年の市場投入に向けた準備を進めています。また長崎県が国の支援を受けて推進する「長崎EV&ITSプロジェクト」において導入されるITS車載機器にアルパイン製品が採用されるなど、当社の取り組みは業界からも高い評価を得ております。10月25日～29日に韓国 釜山で開催された「第17回 ITS世界会議」においても長崎県出展のブースに当社製品を展示しました。更に当社の相馬取締役がスペシャルセッションのスピーカーとして参加するなど海外に向けても当社のITS技術をアピールしました。アルパインはユーザーインターフェースやEV時代を見越した新サービスを積極的に提案し、ITS先進企業として魅力ある製品化や市場形成に取り組んで参ります。



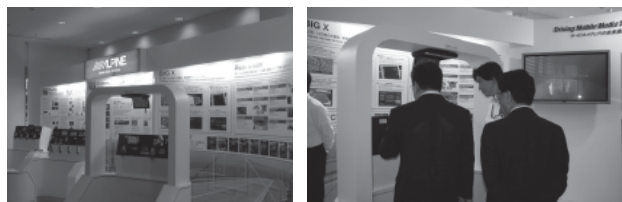
ITSスポット対応ナビ・車載機合同展示会

北米の顧客満足度調査でNo.1を獲得

北米の権威ある顧客満足度調査において、当社の純正カーオーディオシステムがNo.1を獲得いたしました。同調査は、米国において販売される純正Audio装着車が調査対象となり、製品カテゴリ別に優秀なサプライヤーを選定するものです。評価対象となるサプライヤーが納める当該カテゴリ製品全てのトータル評価でランキングを決定され、今回アルパインがNo.1を獲得したのは「AM/FM Single CD」部門となります。当社の主要顧客である日系自動車メーカー向けに納入しているオーディオ製品の品質が優れていると評価された結果です。お客様の満足度を高めるため、アルパインは引き続き全社を挙げて品質を追求し、業界No.1を目指します。

ALPS SHOW 2010 開催 グループの総合力を訴求

去る9月21日から25日まで当社の親会社であるアルプス電気主催のプライベートショー「ALPS SHOW2010」が開催されました。アルプス電気グループではお客様や業界関係者の方々を中心に新製品・新技術をご紹介するALPS SHOWを隔年で開催しております。この春のアルプス電気新社屋完成を機に、今年度は東京都大田区雪谷大塚町のアルプス本社で開催され、アルパインも出展いたしました。アルパインブースにおいては、日刊自動車新聞用品大賞を受賞した8型大画面カーナビゲーション「BIG X」、インターネットラジオ「Pandora」の操作可能なヘッドユニット「iDA-X305S」、参考出品のセンシングカメラ「HCE-C300」が来場者の注目を集めていました。ご来場いただいたお客様からは、「部品業界の技術の深さを知ることができる良い機会となった」、「アルプス・アルパインのブルー투스技術に期待したい」など今後のビジネスに期待できるコメントもいただきました。アルパインの技術開発力に併せてグループの総合力を訴求し、さらなるビジネスの拡大を目指します。



ALPIS SHOW 2010 アルパインブース

太倉アルパイン(江蘇省) 新工場稼動

当社は生産子会社である中国江蘇省 太倉アルパインの工場を移転いたしました。太倉市政府の再開発計画において、当社工場を含めた地域が商業地域へ変更されることに伴い、市政府が用意した敷地への移転要請に対応したことによるものです。新しい工場は「環境・品質・人に優しい工場づくり」を建設のコンセプトとしています。LED照明を採用し、外光を取り入れる構造など環境に優しい工場を目指す一方、図書室や教育室を併設した厚生棟を新設するなど、人にも優しい工場を実現しています。従業員寮など福利厚生施設を充実させることで従業員の働きやすい環境を提供し、また整備されたインフラ環境により徹底した品質を追求、顧客満足度の更なる向上を目指します。

『新工場概要』

移転時期：2010年10月稼動開始

移転先住所：移転先：江蘇省太倉市経済開発区広州西路1号

敷地面積：82,000㎡(従来比18%減)

建屋面積：16,570㎡(従来比16%増) 製造面積13,270㎡ 厚生棟3,300㎡(新設)

生産品目：自動車メーカー向け・市販向け車載機器

月産能力：従来比3割増



太倉アルパイン 新工場



あなたの株式が「特別口座※」に残されているかもしれません。

平成21年1月までに、株券電子化の手続きがなされなかった皆様の株式が、三菱UFJ信託銀行の「特別口座」に預けられています。「特別口座」に預けられたままでは、株式売買に制約があり、また追加管理コストが発生しております。「特別口座」から「証券口座」への振替・買取・買増のお手続きをさせていただき費用削減にご協力頂きたく宜しくお願い申し上げます。まずは以下をご確認ください。

お手元に届きました配当計算書でご所有株式数をご確認ください。

第45期 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで) **中間配当金計算書**

ご所有株式数 ○○株	1株当りの配当金 ○○	配 当 金 額 ○○○○円	所得税率 ○○%	所 得 税 額 ○○円	税 引 配 当 金 額 ○○○○
			住民税率 ○○%	住 民 税 額 ○○円	

ご所有株式数をご確認下さい。

多い事例としては、1単元(100株)未満、または1単元以上であっても例えば所有株式数が10株、110株、1210株など100株未満の端株をお持ちの場合、特別口座に株式が預けられている可能性があります。

ご確認とお手続きの詳細については、三菱UFJ信託銀行証券代行部 (☎0120-232-711) フリーダイヤルにお問合せください。

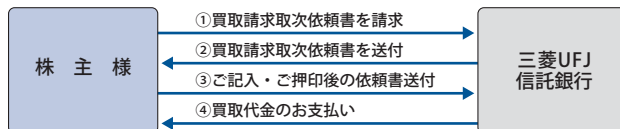
上記のとおり計算いたしましたのでご通知申し上げます。
本票は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねておりますので、確定申告を行う際は、本票をその添付書類としてご使用いただけます。
平成22年11月29日

支払確定日 平成22年11月30日
支払開始日 平成22年11月30日

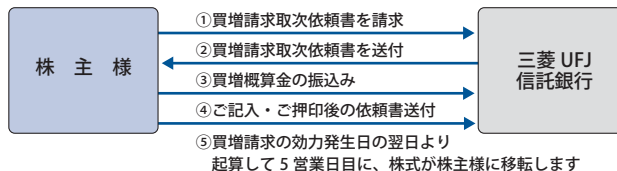
アルパイン株式会社

株主名簿管理人
三菱UFJ信託銀行株式会社
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電 話 0120-232-711 (通話料無料)

<買取をご希望される場合のお手続きについて>



<買増をご希望される場合のお手続きについて>



※「特別口座」とは？

株券電子化の際、「証券口座」に振り替えられていない株式をお預かりしている口座のことです。

ケース1. 単元(100株)未満株式を持っていたものの、「証券口座」に振り替えられていない株式

ケース2. 単元株であっても、株券のままお手元にある株式(いわゆる、たんす株)

連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表

	第45期第2四半期 2010年9月30日現在	第44期 2009年3月31日現在		第45期第2四半期 2010年9月30日現在	第44期 2009年3月31日現在
資産の部			負債・純資産の部		
① 流動資産	106,617	96,184	② 流動負債	43,350	39,305
現金及び預金	43,096	40,199	支払手形及び買掛金	25,310	22,923
受取手形及び売掛金	27,669	28,290	短期借入金	—	42
たな卸資産	23,055	17,747	その他	18,040	16,339
その他	12,796	9,946	固定負債	16,963	17,087
固定資産	51,790	57,243	長期借入金	10,001	10,001
有形固定資産	23,582	25,874	その他	6,962	7,085
無形固定資産	4,986	5,672	負債合計	60,314	56,393
投資・その他の資産	23,221	25,696	株主資本	102,230	97,347
資産合計	158,407	153,428	評価・換算差額等	△4,910	△1,098
			少数株主持分	771	786
			純資産合計	98,092	97,035
			負債・純資産合計	158,407	153,428

(単位:百万円)

[連結財務諸表のポイント]

① 流動資産

営業キャッシュフローの確保に伴う現金及び預金の増加や、自動車メーカー向け及び国内市販向け販売増に伴う棚卸資産の増加により、前期比104億円増の1,066億円となりました。

② 流動負債

販売好調による生産増を受け、仕入れが増加したことで支払手形及び買掛金が増加し、前期比40億円増の433億円となりました。

③ 売上高

国内市販市場でナビゲーションの販売が好調であったことや、海外市場で自動車メーカー向け販売が好調に推移したことから、前年同期比28.3%増の980億円を達成することが出来ました。

④ 営業利益

売上拡大を図るとともに、構造改革「CHALLENGE30+(プラス)」によるコスト削減を推進したことで、増益を確保しました。

⑤ 営業外費用

為替が円高に振れたため、為替差損が発生し、増加しました。

⑥ 営業活動によるキャッシュフロー

税金等調整前四半期純利益60億円の確保や、減価償却費35億円を計上したことなどから84億円の増加となりました。

⑦ フリーキャッシュフロー

営業活動によるキャッシュフローと投資活動によるキャッシュフローの合計であるフリーキャッシュフローは29億円のプラスとなりました。



連結損益計算書

	第45期第2四半期累計 2010年4月1日～ 2010年9月30日	第44期第2四半期累計 2009年4月1日～ 2009年9月30日
③ 売上高	98,020	76,410
売上原価	75,403	68,722
販売費・一般管理費	22,616	7,687
④ 営業利益または営業損失	6,993	△5,685
営業外収益	748	847
⑤ 営業外費用	1,715	389
経常利益または経常損失	6,027	△5,227
特別利益	256	650
特別損失	211	851
税金等調整前四半期純利益 または税金等調整前四半期純損失	6,071	△5,429
法人税等	1,089	1,175
少数株主利益または少数株主損失	12	△43
四半期純利益または四半期純損失	4,969	△6,560

(単位:百万円)

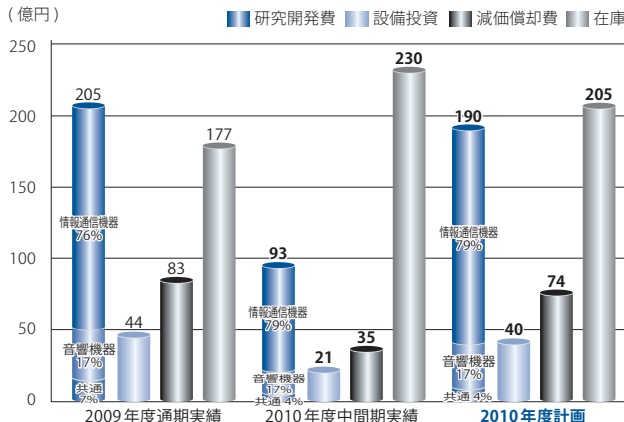
連結キャッシュフロー計算書

	第45期第2四半期累計 2010年4月1日～ 2010年9月30日	第44期第2四半期累計 2009年4月1日～ 2009年9月30日
⑥ 営業活動によるキャッシュフロー	8,479	△423
投資活動によるキャッシュフロー	△5,560	△1,316
財務活動によるキャッシュフロー	△88	6,939
現金及び現金同等物に係る換算差額	△929	△102
現金及び現金同等物の増減額	1,901	5,097
現金及び現金同等物の期首残高	39,844	26,141
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,745	31,372

(単位:百万円)

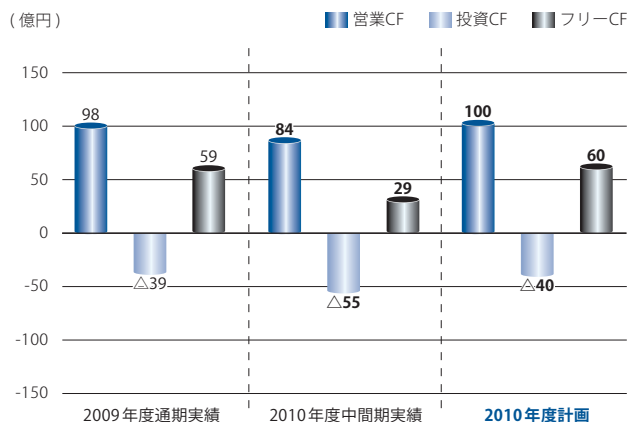
投資・在庫計画

(億円)



7 キャッシュフローの状況

(億円)



(注) 記載金額は表示単位未満を切り捨て表示しています。

会社の概要

会社概要 (2010年9月30日現在)

社名	アルパイン株式会社
英文社名	ALPINE ELECTRONICS, INC.
本社 / 東京事務所	〒141-8501 東京都品川区西五反田一丁目1番8号 TEL 03 (3494) 1101 (大代表)
いわき本社	〒970-1192 福島県いわき市好間工業団地20番1号 TEL 0246 (36) 4111 (大代表)
設立	1967年5月
発行可能株式総数	160,000,000株
発行済株式総数	69,784,501株
資本金	259億2,059万円
グループ従業員数	10,880名(連結ベース27社合計)
国内関係会社	アルパイン・マーケティング株式会社 アルパイン・テクノ株式会社 アルパイン・マニュファクチャリング株式会社 アルパイン・プレジジョン株式会社 アルパイン技研株式会社 アルパイン情報システム株式会社 アルパイン・ビジネスサービス株式会社 アルパイン・カスタマーズサービス株式会社 他4社
海外関係会社	27社 (米州:8社 欧州:9社 アジア・オセアニア:10社)
ホームページアドレス	http://www.alpine.com

役員状況 (2010年9月30日現在)

氏名	当社における地位および担当または主な職業
石黒 征三	取締役会長 (代表取締役)
宇佐美 徹	取締役社長 (代表取締役)
梶原 仁	常務取締役 欧州担当
中村 一男	常務取締役 技術・開発統括
森岡 洋史	常務取締役 生産・購買担当
片岡 政隆	取締役 アルプス電気(株) 代表取締役社長
相馬 聡	取締役 経営企画・管理担当
堀 重和	取締役 OEM製品開発担当
小林 俊則	取締役 営業担当
遠藤 浩一	取締役 製品開発担当
田中 統治	常勤監査役
倉島 要	常勤監査役
吉野 賢治	社外監査役 公認会計士 アルプス電気(株) 社外監査役 (株)アルプス物流 社外監査役
米盛 泰輔	社外監査役 弁護士

※吉野 賢治氏は、東京証券取引所の定めに基づく、「独立役員」です。

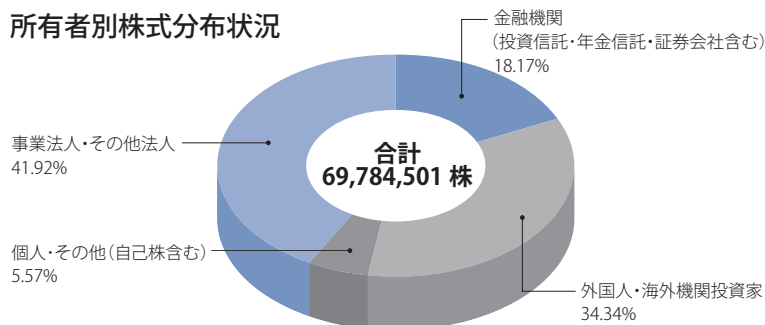


株式の状況 (2010年9月30日現在)

大株主 株主名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持株数	持株比率	持株数	持株比率
アルプス電気株式会社	282,154	40.43	—	—
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	40,239	5.76	—	—
OM04SSB・クライアント・オムニバス	35,872	5.14	—	—
ノーザントラスト・カンパニー(AVFC)サブアカウント・アメリカンクライアント	32,435	4.64	—	—
イチゴ・トラスト	27,543	3.94	—	—
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	23,877	3.42	—	—
ノーザントラスト・カンパニー-AVFC・リUSタックス・エグゼクティブ・ペンション・ファンズ	14,033	2.01	—	—
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	11,198	1.60	—	—
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	8,823	1.26	—	—
CREDIT SUISSE SECURITIES (USA) LLC	7,852	1.12	—	—
バンク・オブ・ニューヨーク・タックス・トリイティ・ジャズデック・オムニバス2	7,644	1.09	—	—
メロン・バンクNA・トリイティ・クライアント・オムニバス	6,725	0.96	—	—
アルパイン社員持株会	6,238	0.89	—	—
ドイチェバンクAG・ロンドン・ビービー・ノントリイティ・クライアントツ613	5,946	0.85	—	—
本田技研工業株式会社	5,851	0.83	36,000	0.19

(注) 信託銀行各社の持株数は、全て信託業務に係るものです。

所有者別株式分布状況



株主メモ

決算期日 年1回 3月31日
 利益配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日
 基準日 定時株主総会については、3月31日。その他必要がある時は予め公告いたします。

定時株主総会
 公告掲載 6月下旬
 電子公告により、当社ホームページ(<http://www.alpine.com/j/investor/index.html>)に掲載いたします。尚、やむを得ない事由により、電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
 ※決算公告に代えて、貸借対照表、損益計算書は EDINET (証券取引法に基づく有価証券報告書の開示書類に関する電子開示システム) にて開示しております。

上場証券取引所
 証券コード 東京証券取引所市場第1部
 6816
 売買単位 100株(1単元)
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関

【株式に関する手続き】

お手続き・ご照会の内容	お問合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> ○郵便物の発送と返戻 ○支払期間経過後の配当金 ○特別口座から一般口座への振替 	三菱UFJ信託銀行 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> ○単元未満株式の買取・買増請求※ ○住所変更・氏名変更※ 	口座を開設されている証券会社等にお問合わせ下さい。

※但し、証券会社に口座を開設されていないお客様は、三菱UFJ信託銀行にお問合せください。

アルパイン株式会社
www.alpine.com